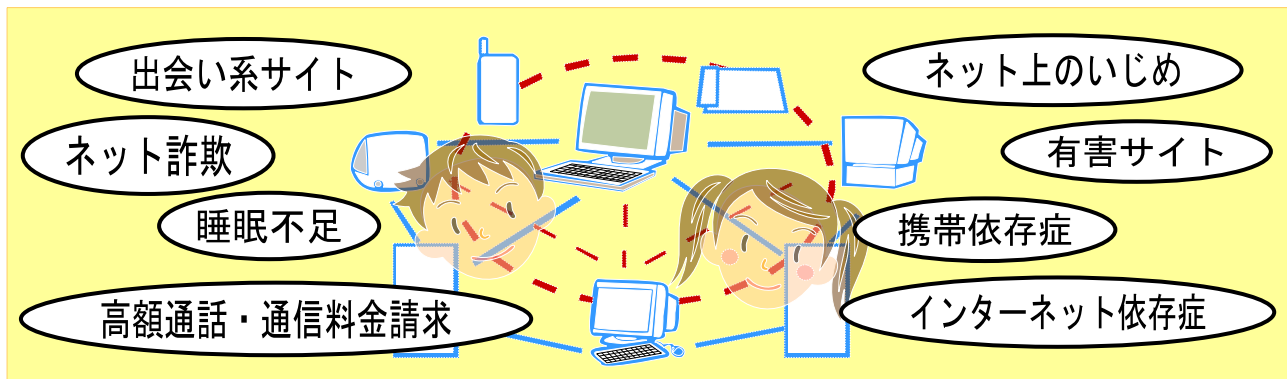


ネット・携帯電話・スマートフォンの正しい利用を！！

子どもを守るのは、あなたです！



インターネットや携帯電話・スマートフォン等の普及により、子どもたちの世界が大きく変わり大変便利になった代わりに、様々なトラブルが発生しています。また、子どもたちがこれら情報機器に没頭することで、自然体験や社会体験，人間関係づくりの経験が不足するようになってきています。子どもたちに情報機器を「正しく使う力」を身につけさせる必要があります。情報モラル教育は、家庭での取り組みが学校教育以上に大切です。むやみに買い与えるのではなく、家族の中でしっかりとルールやマナーについて話し合みましょう。

犯罪被害にあわないために

出会い系サイトの被害者のほとんどは18歳未満の子どもたちで占められており、その保護者の多くが、「気づかなかった」「うちの子に限ってそんなサイトへのアクセスするはずがないと思っていた」と言っています。また、アダルトサイト等へアクセスし、不用意に会員登録することで、高額な請求が来ることがあります。子どもたちが隠れてアクセスし、トラブルに巻き込まれていくのに、大人は気がつかないのです。



「ネットいじめ」しない、されないために



現在ネット上での誹謗中傷が大きな社会的問題になっています。ネット上での友達同士のトラブルや、掲示板やメールでの心ない書き込みが「ネットいじめ」となり、学校に行けなくなってしまいう子どももいます。

ネットいじめは、保護者も学校も非常に発見しにくいいじめです。インターネットの中では、面と向かっては言えないようなひどい言葉を簡単に言えるようにしてしまいます。また子どもたちは、コンピュータや携帯電話を取り上げられることを恐れたり、親や先生に言っても無駄だと考えたりして、ネットでいじめを受けたことを大人に言わないことが多いのです。

心を支配されないために

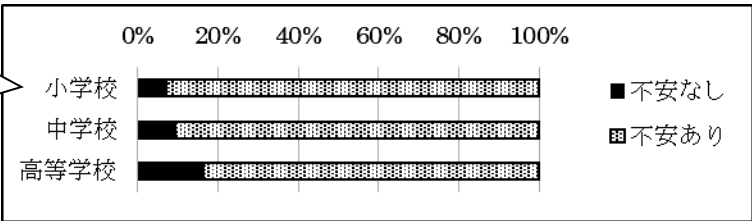
インターネットや携帯電話に熱中し、のめり込んでしまうと心身に影響を与える場合もあります。オンラインゲームやチャットに熱中して深夜まで起きていて朝起きられず、しだいに昼夜逆転となって、自分の部屋に引きこもり、インターネット依存症になることがあります。



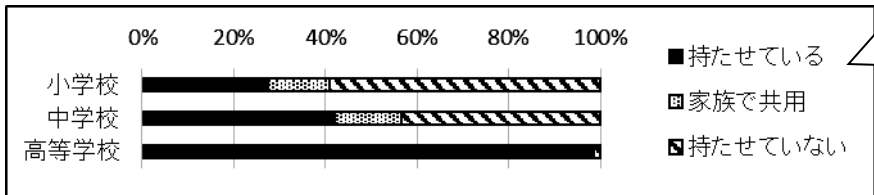
また、携帯電話が少しでも自分から離れると不安になってイライラしたり、友達からのメールが来ないと恐怖を感じて人にあたったり、落ち込んだりする携帯電話依存症になる子どももいます。メールやチャットにすぐに答えなければいけないと追い込まれ、深夜までケータイ・スマホを手放せない子どもも増えています。

子どもに携帯・スマホを持たせることへの不安はありますか

小学校では90%以上、高等学校でも80%以上の保護者が何らかの不安を感じています！



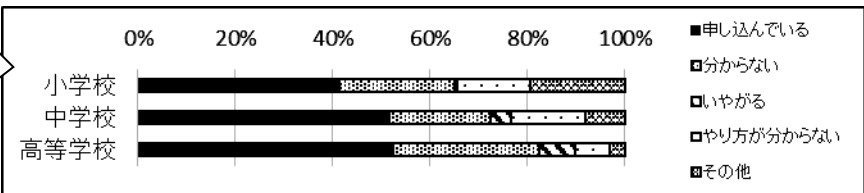
お子さんに携帯・スマホを持たせていますか



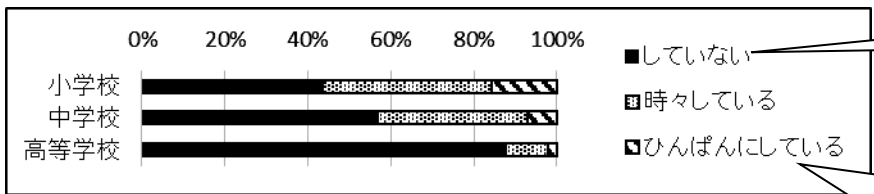
連絡が取りやすいなどの理由で、小学校で40%、中学校で56%、高等学校では98%が、自由に使っています

お子さんの携帯・スマホにはフィルタリングサービスを申し込んでいますか

半数はフィルタリングを利用していますが、保護者の20%が「申し込んでいるかどうかわからない」と答えています！



お子さんの通話やメール・チャットの履歴等をチェックしていますか



通話のみの携帯が含まれていることに注意

子どものやり取りを把握していない保護者が中学校・高校で半数以上になっていることは気になります！



学校では...

現在、各学校では、情報モラル教育として、メールやネット、携帯電話の安全な使い方などを学習する機会を設けたり、中学校区で「ノーメディアデー」（テレビやネットを見ないようにする日）を設定するなどの取組を進めています。

<家庭で、子どもと話しあい、しっかりルールを作りましょう>

- ・夜9時以降は、子どものスマートフォンを大人が預かる
- ・ゲームをするのは夜9時までにする
- ・必ずフィルタリングサービスを設定する

子どものメールや履歴をチェックするのは、プライバシーの侵害ではありません！

そのようなことで、親子の信頼関係が崩れてしまっても元も子もありません。与える前にしっかり話し合い、親子でルールを決めることが大切です。親に見せられないようなことがあるなら、危険信号かもしれません。使用料等を保護者が支払うのですから、きちんと約束してメールや履歴等チェックし、子どもの状況を把握していくようにすることが大切です。